施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

施策名	42 地方創生・広域連携	
政策名	持続可能な行財政運営を行う	
施策がめざす 将来の姿	・連携する自治体がそれぞれの特徴や、強みを生かしれています。	あいながら効果的な広域連携事業が展開さ

③ 施策評価指標

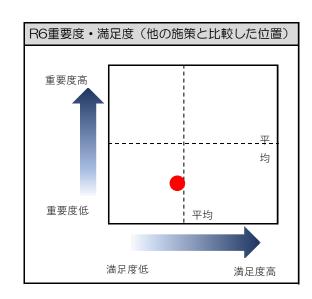
単位	後期当初値	令和9年度	目標		
令和5年度 	令和6年度	介和7年度	令和8	年度	令和9年度
10100 1 12	15150 1 /2	15 15 1 152			13 133 112
	+世	十世 区和口顶电	十世	十世	十世

3 施策の重要度と満足度(市民アンケート調査結果)

重要度/単位(人)
令和6年度
140

満足度 (満足している市民の割合) /単位 (%)					
令和5年度		令和6年度			
86.0	→	87.9			

※増減(→)の基準は3ポイント以上とする



担当課: 企画広報課

4 施策の課題と今後の方針

(施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。)

連携協定を締結している各務原市・美濃加茂市とともに、3市で取り組むことで効果が発揮される事業を協議し、観光プロモーションや、災害対応、職員研修等の分野での連携事業の実施が始まりました。引き続き、スケールメリットを生かすことで効率的・効果的な行政サービスにつなげることができる事業は、広域連携を検討していきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

(右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。)

事務事業(1): 地域経済応援券事業

R6決算額 重点化(縮小)する細事業		方向性		事務事業の今後の方向性	
(千円)	(主なもの2事業まで)	事業費	成果	争伪争未のブ後の万円住	重点化
19,361				地域経済応援券(せきチケ)と電子商品券(せきpay)の発行額の維持に努めつつ、目的・役割や費用対効果から今後の在り方の検討もあわせて進めていきます。	